

めざす子ども像

**『命や人を大切にする子』『感謝の気持ちを大切に
にする子』『夢に向かって進める子』『富雄を愛
する子』**

取組目標

コミュニティ・スクールと連動し、幼稚園からの11年間を一貫した考
えのもと地域と学校が協働する体制の定着を目指す。社会情勢にあわせ目
的、目標は維持しつつ柔軟にアレンジし、実施時期、方法については十分
に考慮する。

【今年度の取組紹介】

例年『富雄を愛する子』を育てるため実施してきた郷土学習で
すが、昨年度同様「一堂に集まって共に学ぶ」という開催方法が
コロナ禍で密を避けるため出来ず、屋外での実施を想定した取組
に向け実行委員会を組織し、協議を重ねました。地域の特性、歴
史、現在に至るまでの変遷などを如何に楽しみながら学ぶのか。
子どもたちからご年配の方々までが一緒になって学ぶための仕掛
けとは。様々な課題をクリアしながら協議をすすめましたが、今
年度は大学生が参画してくれたことにより違った視点も取り入れ
ることができ、1月15日には「ふるさと発見ウォークⅡ」～
TOMIO QUEST お地蔵さんを求めて～を無事に実施するこ
とができました。地域に溶け込み、ときには見逃されている「お
地蔵さん」をたどり、幼稚園児から80代までの方々が地図、資
料、クイズカードを手に協力しながら古い時代の道を歩きました。立ち寄った2か所の神社では宮司
さんから丁寧な説明をしていただき、故郷の再発見につなげることができました。

子どもたちと地域の大人が共に学ぶ機会をこれからも作っていきたいと考えています。

**【今年度のまとめ】**

これまで継続してきた取組を、コロナ禍を理由に途切れさせることは考えず、何とか方法を考え対
策を取り、実施しました。昨年度の経験が今年度の対応力の高さにつながったと考えられますが、予
想のできない世情の変化に振り回されたことは間違いありません。しかし、地域の皆様の「子どもた
ちの学び」に対して寄せていただくお気持ちが途切れることはなく、多くのご協力、参加を頂いたこ
とはここ富雄の地域の教育力の高さではないかと考えます。取組の事後アンケート調査においても満
足度が高く、次年度以降の企画に期待を寄せられている様子がうかがえ、回を重ねるごとに地域の皆
さんのリピーターが増えていることを感じました。

【来年度に向けて】

現在の制約された状況がいつまで続くのか分かりませんが、「出会いとつながりの再生」を合言葉
に、アフターコロナを見据えた活動を発展させていきたいと考えます。慎重さを持ちつつも必要なこ
とをあきらめず、これまで控えてきた大規模な熟議も実施できるよう活動をすすめます。

めざす子ども像

命や人を大切にする子 夢に向かって進める子
感謝の気持ちを大切にする子 富雄を愛する子

取組目標

**地域と一体になった活動を通し、めざす子ども像に合わせた取組の充実。
教職員における地域との協働意識の向上。**

【今年度の取組紹介】

今年度も、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、地域と共に例年行ってきた取組が大きく制限されました。その中、本校区のめざす子ども像育成に向けどのような活動ができるかを、コーディネーターの方々と話し合いを重ね、単に活動を中止にするのではなく、昨年度の経験を生かしながら今できる新しい方法での取組を工夫することができました。

キャリア教育において、昨年度は2年生の職場体験が実施直前に中止になり、代替りの活動を行うことが出来ませんでした。本年度は、職場体験ができなかった時の代替え活動について早期よりコーディネーターの方々と計画を進めたことで、多くの職業に就いておられる方々に、講師として来校いただき、感染対策を行いつつ、全く違った形式で生徒に将来の職業について考えさせる時間を持つことが出来ました。教職員と沢山の地域の方々が一堂に会しての熟議の場を持つことは今年度も難しかったですが、コーディネーターの方々と教員合同での「SDGs」についての研修を実施することが出来き、職員と地域の方とで、良き意見交流の機会とすることが出来ました。その他、生徒の表現力向上のため、「富中川柳」「ベルマークプレゼンテーション」「ビブリオバトル」などの取組を計画することが出来ました。また、ボランティア部では、「SDGs」の観点から給食の牛乳パックを回収し、ベルマークへと有効活用することが出来ました。



【今年度のまとめ】

コロナ禍の中、今年度も色々と活動が制限されましたが、様々な活動を中止にするのではなく、昨年度の経験を生かし、感染対策を行いながら、新たな形での実施形態を工夫することが出来ました。

また、タブレット等のICT機器の活用やオンライン化が急速に進むにつれ、生徒たちが受け身になり自己表現力の低下が懸念されることより、コロナ禍の中でも可能な発表や表現活動の機会の確保に力を入れることが出来ました。

【来年度に向けて】

来年度も今年度の経験を生かし、その時その時の状況の中、本校区のめざす子ども像育成に向けどのような活動ができるのかをコーディネーターの方々と教員がしっかりと熟議し、それぞれの取組に教員も積極的に参加し、地域と協働できるよう努めてまいります。また、授業をはじめとした日々の活動の中に、学び合い活動を積極的に取り入れ、生徒が人とのつながりをつくる機会を増やしていきたいと考えています。

めざす子ども像

命や人を大切にする子 夢に向かって進める子 感謝の気持ちを大切にする子 富雄を愛する子

取組目標

- 地域の人材や保護者ボランティアを活用した体験型学習等の充実。
- 学んだことや取り組んだことを地域や保護者ボランティアに伝え、見てもらう 機会をもつことで児童の表現力、発信力、コミュニケーション力を高める。
- 地域の方とのふれあいを通して、挨拶する態度を育てる。

【今年度の取組紹介】

むかしあそびをしよう！（1年生・生活科）

地域の遊び名人に昔遊びを教えてもらいました。こま回し、あやとり、ケンパの3つのブースに分かれて、昔遊びを体験しました。名人技を見せていただきながら、「手の平の上でこまを回しながらおいかけっこをしたんや。」「あやとりにはいろいろな技があるよ。」という話を聞き、目を輝かせる1年生でした。体験後、「こままわしのこつを教えてもらったよ。」「地域の人にはほめてもらってうれしかった。」等、できたことやうれしかったことを発表し、地域の方から大きな拍手をいただきました。



地域の遊び名人とこま回し

防災学習（5年生・総合学習）

地域の防災士さんから、『自助・共助・公助』をキーワードにして、地域防災の取組について教えてもらいました。実際にテント等の防災グッズを見せていただき、被災時に、体育館が避難場所になることや、防災倉庫に道具があることを知り、防災意識を高める5年生でした。また、「見てふれて考える」をテーマに、ペットボトル等の身近な物を使って災害時に役立つものを考えました。みんなで知恵を出し合うことの大切さを学びました。学習のまとめでは、学んだことや興味をもって調べたことをスライドにまとめて地域の方に発表しました。



防災グッズを考えよう

【今年度のまとめ】

ウイルス感染対策のため、時間・場所・人数に制限を設けながらの活動となりましたが、多くの地域の方や保護者にボランティアとして参加していただいたことで、全学年で充実した活動を実施することができました。学校アンケートでも、子どもたちから「地域の方といっしょにやる活動はやってよかった」と多く回答がありました。4年「環境」、5年「防災」、6年「福祉」と学年テーマを設定し、子どもたちの興味関心を大切にしながら、実際に体験して学んだことを発表する活動を進めることができました。

【来年度に向けて】

これからも多くの方とのあたたかいふれあいを通して、感謝の思いをもち目標に向けて努力する力を育てられるよう活動を進めていきます。そのためにも、来年度も、地域の方や保護者に学習支援活動への参加協力を呼びかけ、教員とボランティアが「めざす子どもの姿」を共有し役割を確認しながら取り組むことを大切にしていきます。来年度もウイルス感染対策を講じ、富雄で出会う「人」「もの」「自然」から、「富雄を愛する子」を育てていきます。

めざす子ども像

命や人を大切にする子 夢に向かって進める子
感謝の気持ちを大切にする子 富雄を愛する子

取組目標

- ゲストティーチャーを招聘するなど多様な人との関わりを通して、より良い人間関係を作り、夢をもって自ら学ぼうとする児童を育成する。
- 地域の方と共に活動することで、人と出会うことの楽しさ・素晴らしさ、地域の良さを知ると共に、地域に対する誇りと自信、地域を愛する心を育てる。
- コロナウイルス感染拡大の状況を確認しながら、今までの取組を精選し実施できるように工夫改善を行うとともに新しい取組を実施できるように学校とコーディネーターと協議していく。

【今年度の取組紹介】

○図書活動支援事業

たくさんの地域の図書ボランティアの方に、図書の本のブッカーかけや季節感あふれる図書室の整備をしていただきました。
 図書室の環境が季節ごとにより変わり、心豊かな学校図書館教育を行うことができました。



○体験学習事業（1、2年）

1、2年生は、地域コーディネーターの方の協力により「大型紙芝居」の鑑賞をしました。昨年に引き続いての取組でしたが、感染症予防対策をしっかりといただき、子ども達は畳1畳の大きな紙芝居に吸い込まれるように鑑賞していました。「猿沢池の龍」「二月堂良弁杉」のお話をしていただき、地域のことを知り、興味を持ち、地域を愛する子の育成のきっかけづくりになりました。



【今年度のまとめ】

今年度はコロナウイルス感染状況をふまえての取組になりました。地域コーディネーターの方と学校とで今までの事業を見直しました。同じ形で実施できる取組・形態を工夫してできる取組・新たな取組に仕分けを行いながら地域ボランティアの方等に協力をいただき実施することができました。今年度は、鳥見・富雄の歴史授業として、地域コーディネーターの方をゲストティーチャーにお招きをして、お話を聞くという新たな取組を始めました。また、地域コーディネーターや地域の支援者の顔写真と名前を掲示した新しい掲示板を設置し、子ども達に顔と名前を知ってもらうことができました。

【来年度に向けて】

来年度も地域の方のお力を借り、めざす子ども像の実現に向け、子ども達にとって地域の方に親しみを感じ、様々な体験ができる活動を継続していきたいです。新型コロナウイルス感染状況を見極め、今までの取組を考え直し、工夫して実施することにより、取組目標が達成されるよう工夫改善しながら実施していきたいと考えています。

めざす子ども像

**命や人を大切にする子 夢に向かって進める子
感謝の気持ちを大切にする子 富雄を愛する子**

取組目標

- 様々な事業を通して、地域の人と触れ合い、関わりながら、コミュニケーション力を高め、感動体験を積み重ねて豊かな心を育てる。
- 事業内容を多くの方に知らせて、人が集まり、協働していくようにする。

【今年度の取組紹介】

◎絵本って面白いね！楽しいね！

地域の図書館司書の方にご指導いただきながら図書ボランティアの方々が季節を感じられるように、折り紙で壁面を飾ったり絵本の特集企画をくんだり一冊でも多く子どもたちが絵本に触れられるように環境を整えてくださいました。「去年は40冊だったから今年は100



冊読むんだ」「どんぐりむらの絵本が面白かったよ」と友達同士で絵本のことを話したり親子で絵本を選んだりして会話も弾んでいます。たくさんさんの絵本に触れたことでイメージが広がり、遊びの中でも創造力が豊かになり、自分で考えたことや知っていることを試したり、工夫したりする姿につながり、日々の生活が豊かになってきました。

◎垣根がまっすぐになった、気持ちがいいね

地域の方や保護者の方のお力をお借りして木の剪定を行いました。「すごい機械（バリカン）で切ってる」「むこうの家が見える」「伸びてた枝がみんな同じになってきた」と子どもたちは作業の様子や新たな景色に興奮していました。園を囲む垣根がまっすぐに整ったことで、自分たちにできることを考え「滑らないようにするためにほうきとちりとりで葉っぱを掃除しよう」「きれいになるって気持ちがいいね」と心地よさを感じていました。剪定した枝や葉っぱを使って虫の家づくりをして自然に触れて遊んでいました。



【今年度のまとめ】

地域コーディネーターの方の発信力や人材力のおかげで新たな活動や日本の伝統文化に触れる活動など様々な体験活動を行いました。地域の方に温かく見守られながら様々な人と出会い直接体験をすることで、地域のすばらしさを知ったり感謝の気持ちや思いやりの心を育んだり、人とかかわる心地よさを感じたりとコミュニケーション力を高めることができました。親子で茶道に親しんだり絵本の読み聞かせを行ったりして親子で素敵な時間を過ごすことができました。

【来年度に向けて】

保護者や地域の方や他の方々にも園の取組をさらに理解していただき協力が得られるようにタイムリーな啓発活動に努め、地域の教育力を引き続き保育内容に取り入れ、子どもたちが人とのつながりを感じながら、遊びや活動を通して感動体験が積み重ねられるようにしていきたいです。

めざす子ども像

命や人を大切にする子 夢に向かって進める子
感謝の気持ちを大切にする子 富雄を愛する子

取組目標

- 地域の方との活動行事を通して、触れ合いを深められるような取組の充実。
- 幼児の心身の発達を促す直接体験ができるような保育内容の充実。

【今年度の取組紹介】

○「体操教室」

年4回講師を招き、子ども達の体づくりを行っています。とても楽しい雰囲気の中、体を動かすことが苦手な子も徐々に笑顔で参加することができました。本園では、体幹づくりを意識した保育を行っていることもあり、講師の先生とも相談しながら、子ども達の体幹を意識した内容を中心に行っていただきました。その内容を保育にも取り入れ、子ども達の体だけでなく、心の安定にもつながる体験を積み重ねることができました。



○「お話の会」

学期に1回ずつ、地域のお話サークルの「泉のたまご」さんに来ていただき、お話の会を行っています。絵本・紙芝居・大型絵本など、3~4種類のお話を読み聞かせさせていただきます。季節の行事、物語など色々なジャンルのお話があり、登場人物ごとに声色を変え、楽器や音楽で効果音を入れながらの読み聞かせは、子ども達はお話の世界に引き込まれ、想像力を膨らませていました。お話の会で聞かせていただいた絵本を図書の貸し出しに時に、借りて読んでみようとする姿や、お家の方に「このお話が、楽しかったからまた、お家でも読んで」という声に繋がっていました。地域の方に読み聞かせをしていただくことは、子ども達の心を豊かにする活動の1つになっています。



【今年度のまとめ】

コーディネーターの方々と相談しながら取組を進め、多くのボランティアやゲストティーチャーのご協力により、保育内容を充実させ、環境改善を行うことができました。色々な活動を継続して行うことで、「次は、お話の会いつあるの?」「お花植えて教えてもらったやり方で、植えてみよう」と地域の方に親しみの気持ちを持ち、意欲的に事業に参加する姿に繋がっていました。

【来年度に向けて】

今年度同様、コーディネーターの方々と連携し、小学校以降の学びにつながる心身を育んでいけるような豊かな体験や園内の環境づくり等に、地域の方々の力添えを得ながら取り組んでいきたいと考えています。また、園の取り組みを理解していただき、協力が得られるように、啓発活動にも努めたいと思います。